

Title	オンライン市況情報サービス企業国際化戦略のための投資分析
Sub Title	
Author	中湖康太(Nakako, Kouta) 伏見多美雄
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1985
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1985年度経営学 第420号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001985-0420

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 中 湖 康 太 主査 伏 見 多美雄
(株式会社市況情報センター) 副査 柴 田 典 男
所属ゼミナール 柴 田 典 男 研 青 井 倫 一

オンライン市況情報サービス企業 国際化戦略のための投資分析

オンライン市況情報サービスとは最新市況情報をコンピュータと通信ネットワークによって端末スクリーン上に映し出す経済情報サービスである。

同論文の研究目的は投資分析の立場から、XYZ社の事例を中心として、①国際化の代替案を検討すること②国際化の意志決定をサポートする財務計画モデル(シミュレーション・モデル)を開発すること③代替案を財務会計上の面からその結果を見たり採算分析を行って国際化戦略において最も注意を払うべき事項を明らかにする(計数的に)ことである。

研究の方法は、まずXYZ社の事例について研究し、国際化の代替案を提案し、次にその諸代替案をシミュレーションしてみても財務会計上の側面から検討をする。採算性の面から分析し、感度分析や定性的な分析を行い国際化戦略を絞り込んでいくという方法をとる。

第1章でXYZ社の事例について記し、第2章で、モデル化を行い(2.1)、国際化の代替案を検討し(2.2)、シミュレーションの方針について述べ(2.3)、前提条件について整理し(2.4)、シミュレーション結果について分析し(2.5)、感度分析(2.6)、多角的分析(2.7)を行い、最後に、オンライン市況情報サービス企業が国際化する上でクリティカルな要因について整理し、戦略策定上の留意点について述べている。

同論文がオンライン市況情報サービス企業の国際化に何らかの示唆を与えることができれば幸いである。

なお柴田助教授には数々の激励、アドバイス、ご指導をいただき、伏見教授には示唆に豊むご意見を、青井助教授にも競争戦略上の重要なアドバイスをいただき、感謝の意を表したいと思います。